

# リスクマネジメント

事業活動を行ううえでは、さまざまなリスクが存在します。問題へと発展する前に、また発生した問題を迅速に解決するために、リスクを予測し、柔軟に対応できる体制を整えています。

## リスクマネジメント

### リスク管理を担当する組織を設置

事業活動に関する様々なリスクに対応するため、内部統制管理委員会に全社的なリスク管理体制・施策等を審議するリスク管理部会を設置しています。また、同部会のもとにリスク管理を担当する組織を設け、リスクの把握、評価、対応策の策定等に取り組むとともに、各業務機能を主管する部門は日常の業務の中で、自らの責任においてリスクの管理と、その顕在化の未然防止に努めています。

## 主なリスクとそれらへの対応

### 情報リスク——個人情報の保護

個人を識別しうる情報(以下、個人情報)の保護は、企業の重要な責務です。ムラタでは、個人情報を適切に取り扱うため、2005年3月に「個人情報保護方針」を制定し、個人情報の取り扱いを「個人情報保護基本規定」に定めています。

特に、電子化された情報については、情報セキュリティ統括責任者を定め、社内情報システムへの外部からの侵入防止策、データ携帯時の暗号化などの対策を講じています。また、従業員が情報セキュリティを正しく理解し行動するために「情報セキュリティガイドブック」を発行し、セルフチェックや教育を実施しています。

### 輸出に関するリスク

#### ——厳格な取引審査を実施

ムラタの海外売上比率は全売上の約75%を占めます。また、当社製品はさまざまな機器に使用される可能性があります。そこで、輸出に関する管理はきわめて重要となります。国際的な平和および安全の維持に貢献しつつ、国内外のお取引様に安心して末永くお取引いただけるよう、法令遵守は当然のこと、法令の趣旨やその背景にある社会的要請へも対応することを基本方針としています。

製品輸出にさいしては「輸出管理社内規程」を策定し、厳格な取引審査を行うとともに、適切な運用のために従業員への教育や監査も定期的を実施しています。

### 自然災害リスク

#### ——地震・火災を想定した対策

ムラタでは、自然災害発生時に製造ライン停止の影響を最小限にするため建物・生産設備の耐震性・安全性確保、防災資機材の設置、バックアップ電源の確保などの対策を講じています。また、防災委員会・自衛消防隊などを組織し、災害が発生した際、従業員が適切に行動できるよう、地震や火災を想定した防災訓練を定期的実施しています。

氷見村田製作所での消火訓練の様子。同事業所では、年に3回消火訓練を実施しています。



掲載情報

● 知的財産管理・流出リスク

▶ <http://www.murata.co.jp/csr/csr/03.htm>

● 能登地震への対応、火災リスクへの対応

▶ <http://www.murata.co.jp/csr/csr/03.htm>